

方 法 市 長 意 見 書

（仮称）横浜駅みなみ東口地区第一種市街地再開発事業に係る環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）に関する横浜市環境影響評価条例第 21 条第 1 項に規定する環境の保全の見地からの意見は、次のとおりです。

横浜市長 山中 竹春

環境影響評価の実施に当たっては、事業内容及び地域特性を考慮し、方法書に記載された事項に加え、次に示す事項に留意してください。

1 事業計画

- （1） 空飛ぶクルマ及びヘリコプターの運航に伴う影響を予測・評価する際に必要となる機体の仕様、運航頻度及び離着陸場の機能等を準備書に記載してください。
- （2） 空飛ぶクルマの離着陸場の計画については、市民等から多くの意見や懸念が寄せられていることを踏まえ、市民等への丁寧な説明に努めてください。
- （3） CASBEE 横浜 A ランク以上及び ZEB 認証取得を目指すとしていることから、省エネルギー対策や太陽光発電設備等の具体的な取組内容を準備書に記載してください。
- （4） 駐車場が対象事業実施区域及びその周辺に多くあると、施設利用者が自動車を使って来訪する傾向があることから、自動車が駅周辺に集中しすぎないように、近隣駐車場と連携した運用等の対策を準備書に記載してください。
- （5） 工事用車両の路上待機は周辺交通の支障となることから、対象事業実施区域内に待機場所を確保する等の対策を準備書に記載してください。
- （6） 地盤の状況を考慮した基礎形式や圧密沈下対策を踏まえた施工計画を準備書に記載してください。
- （7） 対象事業実施区域は帷子川沿いであり、極端な大雨の発生が増加していることから、緑地の機能の活用を含めた内水氾濫対策を準備書に記載してください。
- （8） 方法書説明会での説明内容の訂正については、訂正内容を準備書に記載し、広く周知を行ってください。

準備書の周知及び説明会開催にあたっては、対象市民等に対して確実に周知を行い、丁寧な説明を行ってください。

2 環境影響評価項目

(1) 工事中及び存在・供用時

ア 水循環

水循環の環境影響評価項目については、周辺の状況や施工方法を踏まえて、選定した理由・選定しない理由をより分かりやすく準備書に記載してください。

イ 地域交通

対象事業実施区域は横浜駅に隣接しており、駅利用者等が多く通行することから、工事用車両及び関連車両と経路が交わる地点を追加して調査し、歩行者等の安全についての予測・評価を行ってください。

また、無信号交差点の交通混雑の予測・評価については、歩行者の影響を考慮してください。

(2) 工事中

ア 地盤

対象事業実施区域及びその周辺は軟弱地盤であり、地盤沈下の可能性が考えられることから、対象事業実施区域と合わせて周辺の地下水位も把握し、定量的な予測・評価を行ってください。

(3) 存在・供用時

ア 生物・生態系

(ア) 都市部の哺乳類は冬季も活動しているため、冬季の哺乳類調査を追加し、年間を通して調査を実施してください。

(イ) バードストライクが発生する可能性や原因について事例を参考に整理し、対策の検討に必要な情報を収集できるよう、調査地点、調査回数及び飛翔高度等の調査手法を検討し、調査を行ってください。

(ウ) 秋季における鳥類の調査については、バードストライクの視点から、種によって渡りの時期が異なることを考慮して調査時期及び回数を設定して実施し、調査結果を踏まえた予測・評価を行ってください。

イ 緑地

緑地の調査の手法及び調査地域については、エコロジカルネットワークを考慮して設定してください。

ウ 騒音

空飛ぶクルマ及びヘリコプターの運航に伴う騒音については、周辺の住居階数を考慮した高さも追加して予測・評価を行ってください。

エ 景観

主要な眺望地点からの景観の調査については、対象事業実施区域が視認できる地点として、ヨコハマポートサイド地区及び横浜ベイクォーター方面からの地点を追加してください。